

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	エチュード		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多数の専門職を配置することで、事業所全体として質の高い専門的な支援を提供しております。	当事業所では、定期的な全体会議や事例検討会を実施し、各職員の支援内容を共有・分析しております。これにより、優れた実践を全職員で共有・展開することで、事業所全体の支援の質向上に継続的に取り組んでおります。	職員の専門的な支援スキル向上を図るため、事業所内外の研修機会を一層充実させ、質の高い支援提供に繋げてまいります。
2	課外活動等を通じた地域社会との繋がりや行動について学べる機会を作っている	社会生活へ馴染みやすくなるように機会を設けている。子どもたちで考え行動する機会を大切にし、こちらからは出来る限り助けすぎない工夫をしている。	なかなか自分から行動できない子どもたちに自信がもっと着くように普段から自己肯定感が高まる関わりをし、外に出た際に実践できるようにアシストしていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の皆様に対し、非常時対応および安全確保に関する重要な情報が適切に周知されていない状況にあります。このため、情報伝達方法の改善を含め、早急に保護者の皆様への周知徹底を図る必要があります。	当事業所では、災害時および緊急時対応マニュアルを策定・整備しておりますが、これが保護者の皆様十分に認知されていない可能性があります。加えて、ご利用いただいているお子様方と実施している避難訓練につきましても、その内容や実施状況が保護者の皆様全体に十分に伝わっていない可能性があります。	保護者の方へ個別で周知を行っていく。また、SNSやICTも活用しながら全体周知ができるよう取り組んでいく。機会の数が適正か意見を聞きながら再考する。
2	地域との交流等についての取り組みについて保護者の方へ情報がしっかりと伝わっていないため、周知をしていく必要がある。父母会等の保護者様間の情報交換、繋がりを作る機会がまだ少なく増やす必要があるかも知れない。	保護者の方へしっかりと情報が伝わっていないことが明らかになった。そもそもの機会の数も少ない可能性がある。機会の数が適正か意見を聞きながら再考する。	保護者の方へ個別で周知を行っていく。また、SNSやICTも活用しながら全体周知ができるよう取り組んでいく。機会の数が適正か意見を聞きながら再考する。
3			